

## 科学の甲子園Jr準優勝—新聞記事と表敬訪問—

前号(第308号)で報告した「科学の甲子園ジュニア全国大会準優勝」については、新聞等で大きく報道していただきました。また、12月13日(水)には、選手6名と担当の大村先生・池田先生と私の9名で、茨城県庁に行ってきました(表敬訪問)。まず、小野寺俊副知事さんを訪問しました。続いて、柴原宏一教育長さんを訪問しました。お二人とも、たいへん温かく迎えてくださいました。最後に、義務教育課と高校教育課に応援のお礼に行きました。生徒たちは、いろいろな質問に対して的確にしっかり答えていました。生徒たちだけでなく担当の先生にとっても思い出に残る1日となりました。

中学生が科学の知識や実技を競う「第5回科学の甲子園ジュニア全国大会」最終日は3日、つくば市竹園のつくば国際会議場で開かれ、本県代表の県立並木中等教育学校が総合2位に入った。地元開催で上位入賞を果たした同校生徒らは

### 科学の甲子園ジュニア全国大会 並木中教校が2位



科学の甲子園ジュニア全国大会で総合2位の県立並木中等教育学校チームはつくば市竹園

「感謝」「来年は優勝」

「結果を残せた。支えてくれた人に感謝」「来年も出場して優勝を」などと喜んだ。東京都代表が総合優勝した。

本県を含む各都道府県代表47チーム計282人が出場した。各チームは同日までの3日間、中学1、2年の計6人が、理科や数学の筆記試験や実技競技に挑んだ。8月の県大会で優勝した本県代表の並木中等教育学校は全員1年生のメンバーで臨み、第2回大会の総合優勝、第4回大会の総合5位に続き、3度目の入賞を果たした。

競技は筆記と実技の総合得点で順位を決定する。同校は実技1、2のうち実技1で競技別1位。総合では2位となった。

第1回大会から指導役を務めている同校の大村千博教諭46は「今年の6人は素直で明るい。教えたことをスポンジのように吸収した」とチームを評価。同校キャプテンの山内悠渡さんは「本県開催ということで、たくさんの方や先生に応援していただいた」と感謝し、「来年は筆記試験にもしっかり対応できるように、知識量を増やしたい」と、早くも次回大会に意欲を示した。

大会は2013年から、中学生に科学の意義や楽しさを実感してもらうのが狙い。毎年開催し、今後は19年度まで3年連続で本県開催となる。

(高阿田絵司)

11017年11月4日付け茨城新聞より

